

ぼくの家族

桜木小・5 高野 壮汰

ぼくのお父さんは、ぼくが小学四年生の時から、神奈川県で一人でくらししています。仕事の都合で転勤することになってしまったからです。なので、初めのころは二か月に一度、土曜日と日曜日にか会うことができませんでした。毎日のちよつとした発見や面白いことを伝えることも、勉強している姿を見てもらうことも、できませんでした。とても悲しかったので、お父さんの仕事の前には、電話をしながらお父さんを送り出しています。とてもさみしいですが、運動会や発表会などの大事な時は、家に帰って来てくれます。なので、お父さんが帰ってくる大事な時には、いい姿を見せてあげたいと思い、毎日いっぱい練習をするように心がけています。終わってから、お父さんにほめられるのを楽しみにして、練習をがんばっています。ぼくは、そのほめてもらえる時間がすごくうれしくて大好きです。

長いお休みがあるときには、ぼくとお母さんと弟で神奈川県方面のところに行きます。初めはデイズニージーに、現地集合でお父さんに会いました。その次は、お父さんの住んでいる町の案内をしてもらいます。今年、水族館や動物園、横浜の街を案内してもらい、中華街でいろいろな中華料理がならぶ、高級中華料理の食べ放題にも行ってきました。ぼくの住んでいる豊川市とはちがいで、遊べるしせつがあつて、高いビルやマンションもたくさんありました。

すごく楽しいところでした。でも、家族みんなでたくさん楽しいところに行ったり、いっぱい遊んだりした後には、絶対に、お別れがやってきました。ぼくはこの時間が、その旅の中で一番きらいです。理由は、その時間がくると、その旅の始めの時にもどりたくなるからです。最初は、なみだが出てしまうほどでした。

ぼくは、お父さんが豊川市で仕事をしてくれる日が早く来てほしいと、いつも思っています。いつまで三人での生活が続くのかかわからないので、本当につらいです。

お父さんは、家族みんなを笑わせて、明るくはげましてもくれる、おもしろい人です。それに、ぼくの願いをかなえてくれたり、周りの人のことを考えてくれる、やさしい人です。ゲームもすごく上手で、ぼくのじまんのお父さんです。

お父さんと別れる時には、必ず「ママと弟のことをよろしくね。」と言われます。ぼくは家族のことが大好きなので、お父さんが神奈川県にいる時には、家族のためにぼくもがんばろうと思います。勉強や運動だけでなく、お手伝いを自分からすすんでできるようにがんばりたいです。

それに、二学期は学習発表会があります。今年もお父さんにかっこいい姿を見てもらえるように、練習をがんばりたいと思います。ぼくの大好きな家族が四人そろってくらせる日が早く来てほしいです。

ぼくのお母さんは、ぼくが二年生の時から今の仕事をしています。毎日学校がある時は、どっちの方が早く家に帰れるかのバトルをしています。ギリギリになる時は、朝に少しおくれるかもと言ってくれます。学年下校で弟と同じ授業の量だと、ぼくが弟に勝てます。

お母さんは、いつも宿題がまちがってないかを見てくれます。なので宿題の直しはほとんどありません。お母さんは、ぼくたちを気にかけて、すぐに声をかけて、聞いてくれます。なので、ぼくもお母さんを気にかけて、すぐに聞くようにしています。お父さんがいないので、お母さんがぼくを助けてくれます。いろんなことを聞いた、話したりするのが、とても楽しいです。これからも、もっともつと話をしたり、聞いたりしたいです。

ぼくの弟は三年生です。ぼくの学年では、三年生に弟や妹がいる人が多いです。なので、ペア交流会では、ペアの子や、近くにいる子も知っている子が多いので、きんちようはあまりしませんでした。この夏休み中は、二人でるす番をすることが多かったので、弟との仲が深まった気がします。弟はピアノを習っているので、ダンスなども上手です。お父さんと同じで、人を笑わせるのが上手です。いろいろなことを、本気でしようせんして、失敗しても、成功しても、笑顔で話しかけてくれます。ぼくはその笑顔が大好きです。これからも、その笑顔をたくさん見られるように、がんばってほしいです。ぼくはこんな家族が大好きです。